Creative Enzymes®

フェオフォルビダーゼ

Cat. No. EXWM-3511

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素はクロロフィル分解□路の一部を形成し、高等植物や藻類に存在します。高等植物では、果実の熟成、葉の老化、開花などの脱□化プロセスに関与しています。この酵素は2つの形態があり、タイプ1は老化によって誘導され、タイプ2は恒常的に発現しています。この酵素は基質としてフェオフォルビデを非常に特異的に認識し（フェオフォルビデaをフェオフォルビデbよりも好む）、プロトクロロフィルリデa、フェオフィチンaおよびc、クロロフィルaおよびb、クロロフィルリデaなどの他のクロロフィル誘導体は基質として機能できません。もう一つの酵素であるフェオフォルビデデメトキシカルボニル化酵素（PDC）は、フェオフォルビデaから中間体を形成せずにピロフェオフォルビデaを生成しますが、正確な反□はまだ知られていません。
別名	phedase; PPD

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.1.82
反□	フェオフォルビデ A + H2O = ピロフェオフォルビデ A + メタノール + CO2 (全体反□); (1a) フェオフォルビデ A + H2O = C-132-カルボキシピロフェオフォルビデ A + メタノール; (1b) C-132-カルボキシピロフェオフォルビデ A = ピロフェオフォルビデ A + CO2 (自発的)
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。